

蕎麦の花が風にゆれる 花祭り

蕎麦づくり入門「花祭り」が10月9日、秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里で開かれ、オーナーなど約100人が白いきれいな花を楽しみました。

新型コロナウイルス感染症の影響で「那須の獅子舞」の演舞やミニコンサートは行わず、地元野菜の販売や弁当を配布しました。参加者は写真を撮ったり、花に囲まれながら弁当を食べるなど思い思いに過ごしました。

8月下旬にまいた蕎麦は11月に収穫され、12月にはオーナーによる蕎麦打ちを行います。



地域包括支援センターの取り組みが紹介されました



町元気アップ塾「コグニサイズ※」の脳の健康みまもりアプリ「オンセイONSEI」を使った先進的な取り組みがNHKの取材を受け、10月21日にその様子が放送されました。

町地域包括支援センターでは、簡単な質問に答えるだけで声によりその日の認知機能をチェックすることができる同アプリを導入し、介護予防教室や相談業務で活用しています。

※「コグニサイズ」…簡単な計算やしりとりなどの課題と少し負荷のかかる運動を同時に行います。

3年ぶりの獅子舞・神楽舞 諏訪神社「天引ばくの麦祭り」

諏訪神社(天引)の「麦祭り」が10月16日に開かれました。

この祭りは、全国的にも珍しい麦飯を使った神事で、もみ殻をむいただけの大麦に小豆を混ぜ合わせ釜で蒸して麦ばく(強飯)を作り食すると、五穀豊穰・家内安全・無病息災であると言われ、町と県の重要無形民俗文化財に指定されています。

本来は麦をおひつに入れ「エイトー、エイトー」の掛け声とともに担いで神社へ運び氏子に振る舞われますが、コロナ禍で規模を縮小し麦作りと祭事のみ行いました。

神社の境内では、同じく町の重要無形民俗文化財に指定されている獅子舞と神楽舞が3年ぶりに奉納されました。



奉納された獅子舞(上写真)と神楽舞

福島ガッツが優勝！町夏季少年野球大会



第44回甘楽町夏季少年野球大会が8月から10月にわたり甘楽野球場などで開かれ、福島ガッツ(伊藤央樹監督・伊藤颯汰主将)が優勝しました。試合結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝…福島ガッツ(左写真)
- 準優勝…新屋イーグルス 第3位…小幡ロイヤル
- 最優秀選手賞…伊藤颯汰(福島ガッツ)
- 殊勲賞……………秋山結星(福島ガッツ)
- 敢闘賞……………黒澤雅道(新屋イーグルス)
- 敢闘賞……………伊藤直賢(小幡ロイヤル)

県選抜で活躍 少年硬式野球が東日本大会優勝

日本少年野球・東日本報知オールスター戦が、茨城県ひたちなか市などで開かれ、群馬西毛ボーイズ所属の飯塚壮真さん、神戸幸樹さん(ともに甘楽中・3年)が群馬県選抜チーム20人のメンバーとして出場しました。

群馬県選抜は、8月27日の予選リーグを2戦全勝で突破。9月4日の準決勝で千葉県選抜、決勝では昨年度優勝の東京都東選抜に見事勝利し、3年ぶり7度目の優勝を果たしました。2人は予選リーグから全試合に出場しチームの優勝に貢献しました。

飯塚さんは「選抜では貴重な経験ができ、今回の経験を糧に高校に進学し、さらなる高みを目指します」、神戸さんは「野球を通じて貴重な経験ができ、選抜では勝つことの喜びとともに仲間との絆の大切さを学びました」と、それぞれ感想を話してくれました。



神戸さん 飯塚さん

生徒のアイディアで実現 アンブレラスカイ



甘楽中学校の中庭に傘の装飾「アンブレラスカイ」が登場しました。これは、春に甘楽総合公園内で開催されたアンブレラスカイに感動した生徒会役員が提案し、生徒の「交流の場」となるよう中庭で楽しめる企画として実現したものです。

10月24・25日、生徒が地元業者の指導のもとワイヤーに傘を1本ずつ取り付け、7色約150本が並ぶと見慣れた中庭も素敵な空間に様変わりし、うれしそうに空を見上げる生徒の姿がありました。前期生徒会会長の清水翔和さん(3年)は「多くの生徒が参加してくれ、とてもきれいにできました。甘楽中の元

気の象徴になるような交流の場になってほしいです」と話してくれました。

井上高広校長は「学校生活を楽しく、豊かにする活動を生徒自身が提案できたことが素晴らしいことだと思います。また、生徒の思いを地域の方や保護者の力添えで実現でき感謝に堪えません」と話されました。

アルミ缶回収で表彰 小幡小

小幡小学校(大竹康史校長・152人)は、アルミ缶リサイクル協会(東京都豊島区)からアルミ缶回収協力者表彰の優秀賞を受賞し、同協会から感謝状と記念品が贈られました。

これは、アルミ缶リサイクル回収拠点事業所として協会から認定されている田村商事有限会社(田村直幸社長)が各校のリサイクル活動を推薦し、表彰されたものです。

なお、福島小学校(中島 剛校長・158人)は、奨励賞を受賞しました。



回収活動を行う小幡小保健委員会



協力し落ち葉を集める児童

また、10月12日には、小幡小学校の4年生から6年生までの児童とPTAが、3年ぶりに桜並木の清掃活動を行いました。1時間ほどで、落ち葉などでいっぱいになった袋がいくつもできました。

小学校では、資源のリサイクルと自然環境の保全に積極的に取り組んでおり、児童の環境教育を学ぶ機会となっています。

生涯スポーツの振興に尽力 中野さん



群馬県の生涯スポーツ功労者と生涯スポーツ優良団体の表彰式が10月14日、県庁昭和庁舎で開かれました。これは地域や職場において、地道な活動を継続し、生涯スポーツの健全な普及や発展に貢献した個人、団体を県知事が表彰するもので、中野善彦さん(秋畑)が栄えある賞を受賞しました。

中野さんは長年にわたり町体育協会の役員として各種大会の運営に携わり、地域社会の生涯スポーツの普及・振興に貢献されました。また、現在も還暦野球チームの選手として活躍しています。

「受賞できたことは周りの皆さんのおかげです。これからも町の生涯スポーツの振興の一端を担っていきたい」と受賞の喜びを語られました。

貴重な品々を展示 私のお宝展

甘楽町郷土史研究会(三木幸児会長・会員15人)は、10月19日から23日まで町文化会館で3年ぶりに「私のお宝展」を開きました。

同会は、町の歴史などを調査・研究する勉強会を月1回行っており、活動の一環として会員の所蔵するびょうぶや掛け軸、漆器、拓本、など約160点を展示し、訪れた人に会員が解説する場面もありました。

三木会長は「多くの人の来場があり、町の歴史や文化を感じてもらうことができました。同じ趣味を持つ来場者とも話に花が咲きました」と話されました。

